

再来年に名古屋キャンパスが開設されるにあたり、この点を念頭に入れて名古屋での広報活動を充実していただき、良い評価を得られる一助となればと思います。

名古屋学院大学の可能性

学長 ご指摘のように、名古屋キャンパス開設に対する名古屋市内の中学校・高校への周知は大切だと思います。私たちは里帰りだと考えていますが、中学生や高校生のみなさんには新しく大学が名古屋にできるという感覚でしょうから、名古屋キャンパスは通学の利便性も含めて、名古屋学院大学をどんどんアピールしていこうと思います。



下村副会長(以下下村(略))
名古屋学院大学の発展についてのお話は当然のことながら、本学おいては名

学長 おっしゃる通りです。同根の学校法人名古屋学院として、名古屋中学・高校・本学を一つのラインにできるか。名古屋中学・高校の生徒が本学に入学したいと思う大学づくりも考えていかねばなりません。私は中高大の一貫教育をできる環境づくりも可能性の一つだと思います。先日、名古屋中学・高校のPTAの方々とお話しする機会があり、その時に出たのが、「理系の学部を作ってほしい」という要望でした。具体的には獣医学部の名が上がりました。関東や関東以北しかないため、この地区に学部があればと…。確かに

ペットを家族同様に飼うケースが増えていますから、得心できました。

安藤事務局長(以下安藤(略)) 本学の特色づくりのため、是非とも前向きに考えていいのではないのでしょうか。獣医は職种的にも人気が高いですから。

笠井 何事も前向きに考えることには大賛成です。学部の差別化を図ることもブランド力の向上には重要ですから。

学長 私人が名古屋学院大学を背負っている訳ではありませんから、さまざまな方々の意見を伺いながら、着手できること、改革できることに取り組んでいきたいと思っています。

占部 外部の意見に耳を傾ける、ということは大切ですね。貴重なヒントが得られることが多々あると思います。私たち同窓会も、大学発展のためにいろいろと意見を出し合い、提案していきたいですね。



下村 そのためにも名古屋中学・高校・本学の中高大一貫教育のコンセプトを作り上げることが重要だと考えます。

須崎 その通りだと思います。一貫教育のラインを作ることは、まさに名古屋に里帰りすることにもう一つ大きな意味を持たせられるのではないのでしょうか。



安藤 私も名古屋学院大学が今後隆盛していくための柱になると思います。

占部 いろいろな意見が出ましたが、同窓会としても名古屋学院大学が発展することを切に願っています。私たちも大学のレベル向上と社

キャンパス移転について

昨年から名古屋市内への移転を計画しておりましたが、予定通り8月1日に起工式を無事終えることができました。



41年振りの里帰りには、いろいろな理由がありますが、大学の更なる拡充と、学生確保に有利に働くであろうと考えたからです。

2005年の入試結果で定員割れの4年制私立大学は160校と過去最大の数となりました。この定員割れの大きな要因は、18歳人口の減少と、10年続いた大学数の増加だと考えられています。本学も現在定員確保と、いかに大学としての質を高め維持していくかという重い課題に直面しています。学生の学力低下に歯止めをかけなければならぬ。一方、学校経営にとって、定員確保は最も重要なことでもあります。

80%の学生が名古屋キャンパスへ移動することになれば、これらの矛盾を解決してくれるものと確信しています。

名古屋学院大学 理事長 伊藤信義

会的評価が高まるために何ができるか、常に考えながら大学と同窓会のパートナーシップづくりに邁進していきたいと思っています。

学長 大変心強いご発言をありがとうございます。私たちがバックに3万人を超える同窓生の方々が控えていることを忘れず、頑張ってください。

占部 ご多忙の中、多岐に渡りお話しいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

ごあいさつ



21世紀を迎え、大学設立以来40年が経過し、同窓生も3万名を超えて今や同窓会の体制も若い代議員が加わり、だんだん整って参りました。母校、名古屋学院大学は、経済学部、政策学科を新設し、商学部、外国語学部の3学部となり充実した体制となつて参りました。

また、2006年4月には第4の学部「人間健康学部」が開設される予定です。

大学院においても社会人が大勢受講されており、非常に好評でマスコミなどにも多く取り上げられております。

同窓会会報も明るく、見やすいページを心掛けて、今後もさまざまな情報をお届けいたしますので、ご覧いただきたいと思っております。

名古屋学院大学同窓会会長 占部憲一